



第二ぎんなん便り

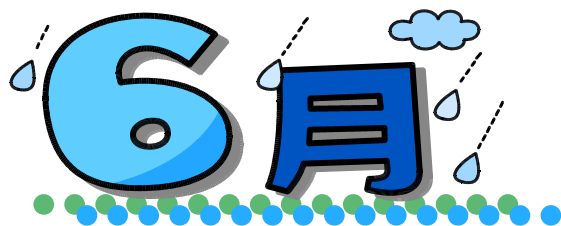
社会福祉法人
熊本市手をつなぐ育成会
第二ぎんなん作業所
平成29年6月27日
第373号

施設長

井芹 靖成



【さつまいもの定植】



梅雨入り宣言が出たものの、空梅雨で、暑い日が続いています。このままだったらどうなるのかと心配しているところです。

さて、先日行われた「しょうぶの里まつり」におじゃましました。ステージやバザー、作品展など内容豊富で、1日楽しむことができました。来客の多さと併せて、地域の方の参加やボランティアさんも多く、日々の地域とのつながり、関係機関とのつながりにも感心したところでした。ぎんなん作業所も野菜の販売やリサイクル回収など、多くの地域の方に、自然に立ち寄っていただいています。直接ではありませんが、地域との共生ができていていると感じています。障がい者の福祉に係わるときに大切なのは、障がい者の方が地域から隔離されないことではないかと思います。地域での生活の内容、方法は個々により違い、その支援についても個々だと思いますが、その支援を受け、社会の一員として自然に生活していけるといいなと思います。

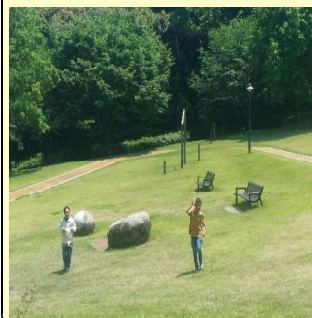
昨年度、高橋前施設長さんがホームページをリニューアルされ、多くの方に見ていただいていたと思います。今年度も引き続き毎週更新していこうと思っていましたが、私のパソコンへの知識の無さからまだ、更新することができません。申し訳ありません。今しばらくお待ちください。

6月15日（木）に、毎年お世話になっている東区戸島の塩井さんの畑で、さつまいもの定植をしました。塩井さんには畝づくり、マルチ張り、マルチの穴開けまで準備していただき、畑に到着後すぐに定植をしました。



①みんなで力を合わせたので長い長い畝もあっという間に定植できました。

②1本1本の苗を、向きを間違えないように、2本の指で押し込みながら定植しました。



③お昼は運動公園の中の休憩所で昼食を取り、景色を眺めたりしてゆったりと過ごしました。

【熊大附属支援学校職場体験実習】

熊本大学附属支援学校の2年生の3名の方が職場体験実習にこられました。作業所の利用者の方も実習に来られるのを楽しみに待ちわびていました。

6月6日～8日の3日間でしたが、最初の2日間は午前中、最終日は午後までの体験でした。仕事は缶つぶしの仕事をしていただきました。初めはペダルを思うように踏み込むことができず、苦勞をされていたようです。ただ、要領をつかまれると、それぞれのペースで仕事を進めることができるようになったようです。中には第二ぎんなん作業所の利用者の方の仕事を様子を見て、スピーディに仕事をされる方もいらっしゃいました。

3日間の体験でしたが、日頃とは違った環境の中でいろいろなことを学び、いろいろな経験をしていただけたのではないかと思います。これからの学校での学習も頑張っていただけたらと思います。

【野菜の収穫をしました】



①ジャガイモはコンテナに8箱分の大量収穫でした。

②タマネギは収穫した後、整えてから、販売しました。



③今年もたくさんのニンニクが獲れました。試食しましたが、甘くて香りたっぷりのニンニクでした。

④穫れた作物は、注文を取ったり、作業所の前で無人販売をしました。



【受託作業の様子】

作業所では、利用者の方と職員で、地域の方々から依頼のあった仕事（除草、剪定、運搬等）を行っています。先日は山鹿の分譲地の除草作業の依頼を受け、作業を行いました。

①刈払機で草を刈った後、レイキで集めます。トラックに載せやすいように集めます。



②刈草は、軽トラックに積み込んで地域の環境工場に運び込みます。

③作業が終わった後は、短い草もないくらいきれいになります。



【新しい仲間を募集しています】

現在、第二ぎんなん作業所では、定員に空きがあります。和気あいあいとして、温かく細やかな支援が自慢です。昨年の保護者アンケートで「通わせてよかった」という回答が100%であったことがその現れだと思います。もし、これから就労継続支援B型事業所を利用したい、または、関心がある方は、ぜひ一度見学、体験をされてみませんか。お待ちしております。

